

第2回 議論

テーマ「AI-Readyな社会のイメージと移行に向けた課題検討」

平成30年6月1日

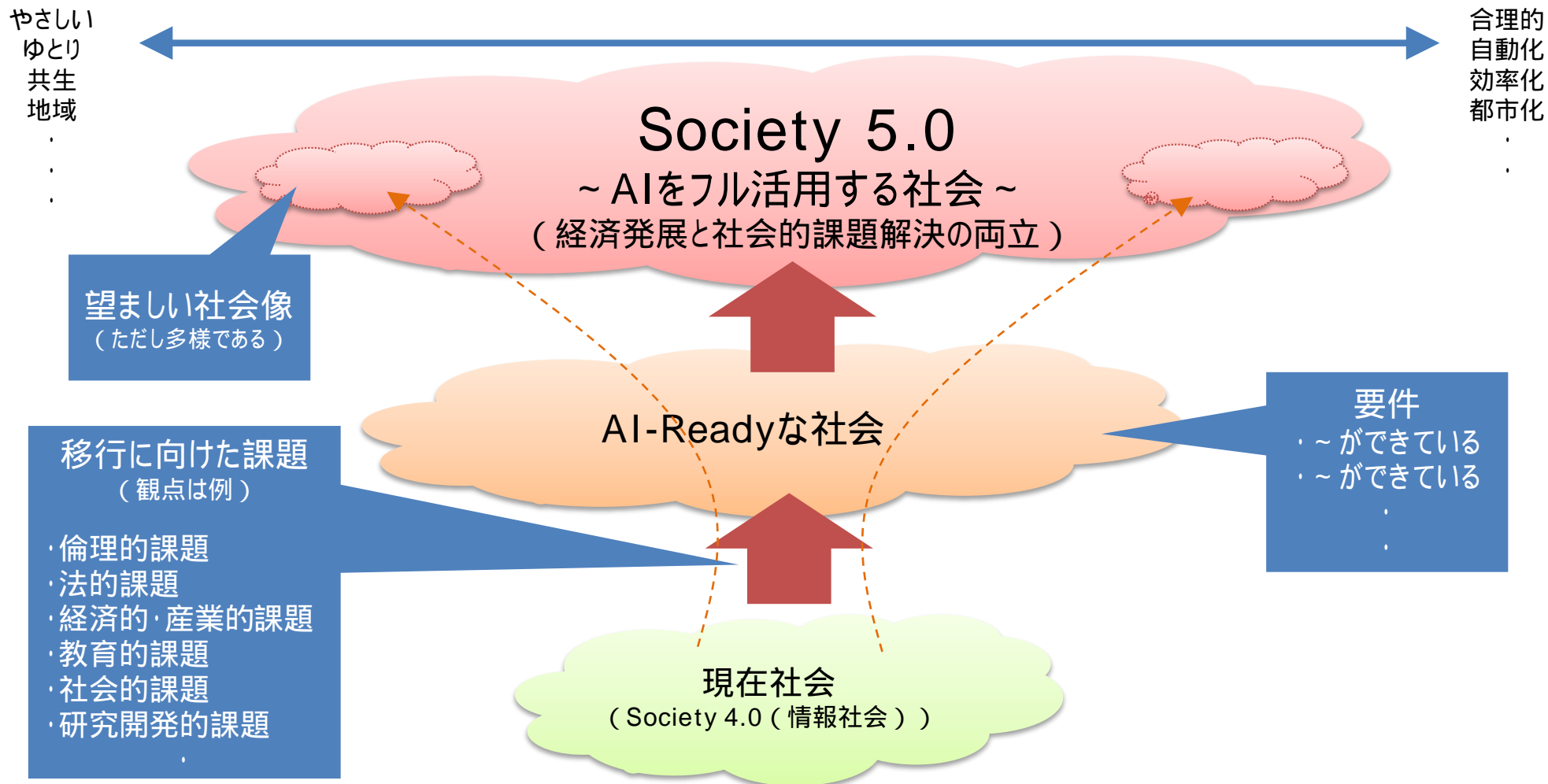
人間中心のAI社会原則検討会議

事務局



AI-Readyな社会のイメージと移行に向けた課題検討

我が国が目標としているSociety5.0の望ましい社会像は人によって多様ではあるが、そこに至る手前の社会であるAI-Readyな社会の具体的なイメージと、現在からAI-Readyな社会に移行するうえでの課題（道筋）を示し、**共通的に押さえておくべき原則**や**保持しておくべきVisionや理念**を見いだしてはどうか。



構成員プレゼンの観点

- ・AI-Readyな社会の具体的なイメージ（何ができている社会か）？
- ・AI-Readyな社会で必要とされる要件はどのようなものがあるか？
- ・現在からAI-Readyな社会に移行するうえで、どのような課題があるか？
（倫理的、法的、経済的、教育的、社会的、研究開発的・・・）
- ・AI-Readyの先にあるSociety 5.0の望ましい社会像の方向性は？

意見交換の論点

- ・構成員プレゼンから共通的に見出せることは？
- ・AI原則に盛り込むべき内容は？（考え方、要件・・・）
- ・AI原則の発信目的、対象は？（誰に対して、何を伝え、どう動いてもらいたいのか）
（対象例：政府、企業、技術者、ユーザ、国際社会、etc・・・）

(参考) Society 5.0

Society 5.0で実現する社会



サイバー空間とフィジカル空間の高度な融合

フィジカル（現実）空間から**センサー**と**IoT**を通じてあらゆる情報が集積（**ビッグデータ**）
人工知能（AI）がビッグデータを解析し、高付加価値を**現実空間**に**フィードバック**

これまでの情報社会(4.0)

Society 5.0



経済発展と社会的課題の解決を両立する「Society 5.0」へ

経済発展

社会的課題の解決

- エネルギーの需要増加
- 食料の需要増加
- 寿命延伸、高齢化
- 国際的な競争の激化
- 富の集中や地域間の不平等

- 温室効果ガス（GHG）排出削減
- 食料の増産やロスの削減
- 高齢化に伴う社会コストの抑制
- 持続可能な産業化の推進
- 富の再配分や地域間の格差是正

IoT、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータ等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、格差なく、多様なニーズにきめ細かく対応したモノやサービスを提供

経済発展と社会的課題の解決を両立

Society 5.0による人間中心の社会

